

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会 選

入選 媪おやひとり住む庭少し「華やげ」と買ひ来て植える黄色の水仙 川口 節子

入選 反時計廻りの地球は瑠璃の色ふんばつて立つ七十路の朝あした 松島 博子

入選 次つぎと変異してゆくコロナ菌老人なれば脅えて生きる 三澤 和子

入選 会うことの叶わぬ孫に送りやるミニカーに添え干柿すこし 佐坂 恵子

入選 また一つ田から宅地へ変貌す先人達の勞苦むなしく 高尾 久枝

入選 梅古木連理の枝に香りけり朝の窓辺に白き一輪 西田 修身

入選 雨傘をたたみて強くひと振りすコロナの感染断ち切る弥生 宮本久美子

入選 早春の日差しの中を巢立つ子ら満面の笑み桜咲くごと 太田越夏代

入選 ぽっかりと浮く春の雲にひよいと乗り君待つ窓へ飛んで行きたし 森田 道子

入選 病みおればあれも没これも没かううじて夢の書けない手帳を開く 湯浅かや子

俳句

阿南市俳句連合会 選

炎天やバス停までの遠きこと

岡久 玲子

海水浴禁止の今年波乗りす

宮崎三千代

年毎に薄らぐ父や終戦日

寿田 淳乃

鬼やんま鳥居越えたりくぐつたり

鈴木 順子

存分に泣いて別れの蝉しぐれ

竹谷 由美

長雨のやみ間に青き栗の毬

庄野 早苗

初恋の色香添えたる新生姜

佐野 峯子

夏負けてばかりをられず指図かな

片山 幸美

灯台の白が岬に夏はじく

東條 明広

ささやかな食事に感謝終戦日

繁木 良子

川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

白寿まで私川柳続けます

西田 修身

ワクチンが遅いと国に文句いう

鈴木レイ子

口下手なセールスマンにある誠

二階千代美

三度目の遅刻みんなの目が刺さる

野村 敏子

それぞれの思い一つの月を見る

原 公美子

チャンネルを独り占めする二刀流

野口 吾朗

百万円数えるたびに間違える

高木 旬笑

一般応募

駅弁を楽しむグルメ旅を恋う

島尾美津子

断捨離をしても便利がまた増える

武田 敏子

友の名を呼び損なつて惚け虚し

福良 充雄

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

那賀川鉄橋列車銃撃七十六年を回思す 市田 嘉則

列車銃撃極悽絶 列車 銃撃 悽絶を極め

熾烈碎肝留彈痕 熾烈 肝を碎き彈痕を留む

記憶堅持七句半 記憶堅持すること七句半

語傳後世弔靈魂 後世に語り伝えて 靈魂を弔わん

阿波の土柱

松原 伸夫

崖若屏風連壁回 崖は屏風の若く 壁を連ねて回り

塊如天柱穿空嵬 塊は天柱の如く 空を穿つて嵬し

神工鬼斧羽濤岳 神工鬼斧 羽濤が岳

奇勝壯觀寰宇魁 奇勝壯觀 寰宇の魁

秋を迎う

井関喜久子

白雲一片 弄秋光 白雲一片 秋光を弄し

雨洗殘炎綠樹墻 雨は殘炎を洗う 綠樹の墻

風伯先知華露冷 風伯先ず知る 華露の冷やかなるを

胡枝花發稻花香 胡枝花発いて 稻花香る

※風伯―風の神

※胡枝花―萩



【ネギ】

安定した需要があるため、ビニールハウスで周年栽培し、出荷。高齢者でも栽培が可能な「細ネギ」の生産を推進しており、カットネギにも加工されています。現在では契約栽培が中心で、契約出荷率の高い品目です。